



議会だより

No. 53

2018年2月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実
●編集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信 始めました!

南魚沼市議会 録画配信

検索



坂戸山 山頂から望む金城山

平成29年度補正予算、12月定例会議案審議	2、3
12月定例会議決結果	4
一般質問 16名が市政を質す	5～11
注目の事業	11、12
平成29年度政務活動費報告	13
議会のスケジュール、動き、仕組みと役割	14、15
オリンピック応援しよう	16

平成29年度 12月定例会 の概要

12月定例会では、補正予算や条例の改正、特別職の給与、議員報酬などが議案になりました。その他に、市有施設の指定管理者の指定や、教育委員の任命、人権擁護委員の推薦についても審議されました。

- 本会議は12月4日、11日～13日、15日の5日間。常任委員会は6日～8日に開かれました。
- 議決結果は4ページをご覧ください。

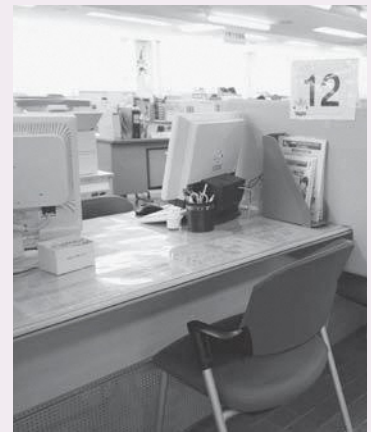
平成29年度 一般会計補正予算（第4号）

補正額2億2,052万円を追加し

総額320億3,590万円に（万円未満切捨）

補正予算の主な事業

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| ■ 機械除雪費 | 1億円 |
| ■ 可燃ごみ処理施設整備事業費 | 1,312万円 |
| ■ 学童保育対策事業費 | 1,318万円 |
| ■ 総合行政システム事業費 | 673万円 |
| 外国語の事務対応や旧姓使用のためのシステム改修を行います。 | |
| ■ 企画プロモーション事業費 | 700万円 |
| 東京オリンピック・パラリンピックを見据え、雪を利用した市のPRを行います。 | |
| ■ 公民館施設管理費 | 124万円 |
| 塩沢公民館の図書室を3階から1階に移し、市民が利用しやすくします。 | |
| ■ 図書館管理運営費 | 235万円 |
| RARA内供用部分の空調入替費用の負担分です。 | |
| ■ 障がい者自立支援事業費 | 2,565万円減額 |
| 就労支援A型事業所が開設できなかったため、当初予算を減額します。 | |



質疑応答

Q & Aは、一部のみを掲載しています。

第105号議案

平成29年度南魚沼市一般会計
補正予算(第4号)

総合行政システム事業費

Q ソフト導入により外国人窓口業務どのように改善されるのか。

A 外国語の事務対応及び国際大学等の大口転入事務の効率化を図る。

企画プロモーション事業費

Q 事業費700万円はどのように使われるのか。

A 渋谷区でのイベントに使用する雪の保存費用として使用する。試験的に300m保存し200mほど残る見込みである。来年度当市で開催される全国雪室サミットで成果は発表を行う予定でもある。

Q どういった形で雪をアピールするののか。

A 来年渋谷区のイベントの中で実際に雪を搬入する。雪室ユニットを持ち込み、雪の魅力や涼をとる施設としてアピールし、オリンピック関係者にも見て頂き、将来的には2020年のオリンピックの際にも採用されるようにしていきたい。またその中で南魚沼市の様々な物産をアピールしたい。

障がい者自立支援事業費

Q 就労支援A型の施設が開設できなかったのは、制度的に高いハードルがあったのか。

A 運営には資格を有するスタッフが必要で、サービスを行うための支援員の確保ができなかったのが一番大きな問題である。

Q 就労支援A型の施設開設に関して、市が積極的に関わっていくべきではないか。

公民館施設管理費

A 市としてもできるだけ自立のための就労支援A型施設をもつてくるような形で進めたい。入ってくる事業所の方に市の実情を説明し、情報を共有した中で来て頂くよう進めたい。

Q 塩沢公民館の図書室が1階に移転後、現行の3階部分がどのように活用されるのか。

A 一部学習室等で利用したいと考えている。



第113号議案

南魚沼市職員の給与に関する
条例の一部改正について

Q 改正による引き上げの影響は、年額でいくらか。

A 月例給の引き上げ対象者は811人で総額約692万円、期末・勤勉手当は、対象者が931人で総額約3,183万円である。全職員数で算出すると、一人平均年間約44,000円の増額見込みである。

第114号議案

南魚沼市学齡児童生徒の就学
援助条例の一部改正について

Q 入学前に支給するのが望ましいが、そのスケジュールは。

A 3月に支給する予定である。

第117号議案

南魚沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

Q 小枝等は収集の際には粗大ごみの処理券を使わなければならないのか。

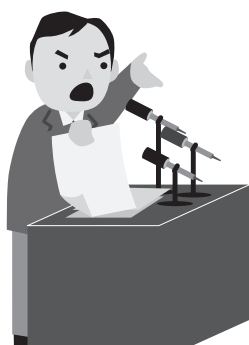
A 区分は粗大ごみだが、現状は直接処理場に持込されている。

第128号議案

南魚沼市、魚沼市教育に関する事務の一部の事業の委託の廃止について

Q 事務の委託のみで、理科センターの授業は無くならないか。

A 廃止されるのは事務の委託のみである。



平成29年 第3回臨時会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第23号報告	専決処分した事件の承認について（平成29年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第4号））	承認（全会一致）
第103号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第104号議案	南魚沼市監査委員の選任について	同意（全会一致）

平成29年 12月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第105号議案	平成29年度南魚沼市一般会計補正予算（第4号）	可決（賛成多数）
第106号議案	平成29年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第107号議案	平成29年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第108号議案	平成29年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第109号議案	平成29年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第110号議案	南魚沼市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第111号議案	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第112号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部改正について	可決（全会一致）
第113号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第114号議案	南魚沼市学齢児童生徒の就学援助条例の一部改正について	可決（全会一致）
第115号議案	南魚沼市保育園条例の一部改正について	可決（全会一致）
第116号議案	南魚沼市廃棄物処理施設条例の一部改正について	可決（全会一致）
第117号議案	南魚沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第118号議案	南魚沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第119号議案	南魚沼市子ども・若者育成支援センター条例の一部改正について	可決（全会一致）
第120号議案	市道の認定について	可決（全会一致）
第121号議案	南魚沼市斎場の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第122号議案	川舟展示室の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第123号議案	訴訟上の和解について	可決（全会一致）
第124号議案	字の変更について（土地改良法関係）	可決（全会一致）
第125号議案	字の変更について（国土調査法関係）	可決（全会一致）
第126号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第127号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第128号議案	南魚沼市、魚沼市教育に関する事務の一部の事務の委託の廃止について	可決（全会一致）
議案番号	議員発議案	採決結果
発議第10号	慎重な憲法論議を求める意見書の提出について	否決（賛成少数）

賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退・欠席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

議案	南魚みらいクラブ							歩む会			未来創政会				市民クラブ				日本共産党議員団	無所属			
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	大平剛	永井拓三	桑原圭美	中沢一博	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	中沢道夫	岡村雅夫	勝又貞夫	
第105号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
第111号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第113号議案	○	○	○	○	※	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
発議第10号	×	×	×	×	※	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	

一般質問

■ 質問順位

1. 清塚 武敏
2. 中沢 一博
3. 梅沢 道男
4. 岡村 雅夫
5. 永井 拓三
6. 吉田 光利
7. 寺口 友彦
8. 田中せつ子
9. 関 常幸
10. 桑原 圭美
11. 牧野 晶
12. 塩川 裕紀
13. 目黒 哲也
14. 大平 剛
15. 佐藤 剛
16. 中沢 道夫



一般質問とは…

議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたすものです。



南魚みらいクラブ
清塚 武敏

答 北里大学保健衛生専門
学院存続への対応は

答 存続に向け県に
細心の配慮を願う

Q 質問 県立十日町病院付属
看護専門学校の開校が

平成32年4月と示された。当
市への経済効果は非常に大き
い。市として今後どう対処し
て行くのか。

①北里学院へ地元の学生受け
入れや、市内医療機関への

就職してもらうために、市
としての取組みは。
②北里学院を存続していくた
めに、市として県にどう働
きかけていくのか。
A 市長 ①北里学院と連携した
個別な取組は行って
いない。地元の学生には推
薦枠を厚くするなどして
もっている。市の病院で
は学生の臨床実習を受け入
れ、学校と連携して丁寧な
実習をしている。今後看護
師不足の解消と北里学院の
存続を目的に、市内すべて
の医療機関に就職する学生
を対象とした、給付型の奨
学金制度の導入を検討して
いる。



北里大学保健衛生専門学院

②県立十日町病院付属看護専
門学校の開校は心配な問題
である。存続を前提とした
計画でなければ絶対になら
ない。魚沼圏域の学生の奪
い合いにならないよう細心
の配慮を県に講じてもらう。



未来創政会
中沢 一博

答 多子世帯への
軽減施策は

答 検討中

Q 質問 少子化があらゆる
ところに影響を及ぼし始
めた。先を見据えての施策が
大事と考える。

①家庭環境による栄養格差の
実態は。

②学校給食の未払い世帯・就
学援助の実態は。

③学校給食費の第3子以降の
無償化を実施した場合の予
算額は。

④一体型「放課後子ども教室」
の拡充を。

A 市長 ①市内の小中学校26校
中、20人が栄養格差
と考えられる。

②未払い世帯は12世帯14人、
援助給食費は462人、
2,378万円で、全児童・
生徒の約10%が該当して
いる。

③第3子以降の該当者は

260人、実施予算額は
1,355万円となる。
④施設の整備・人材確保・運
営面が課題である。放課後
子ども教室と学童クラブが
一体となり、連携してい
く。学童クラブの事務を学
校教育課へ移管し検討して
いく。



答 急増するカード
ローンの実態は

答 速やかに相談して
もらいたい

Q 質問 消費者個人に無担保
で資金を貸し付ける銀
行カードローンの利用者が急
拡大し、多重債務や自己破産
が増加しないか心配だ。実態
を伺う。

A 市長 実態は把握できてい
ない。消費者センター！
無料弁護士相談など身近に相

談できる場所があるので、周知していく。



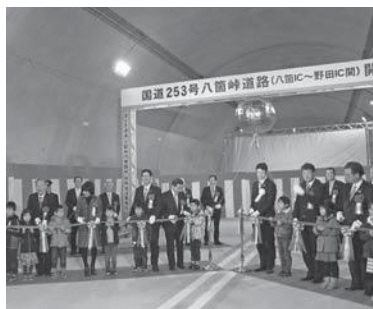
市民クラブ
梅沢 道男

八箇峠道路開通に伴う万全な対策を

答 関係機関に要望する

Q 質問 八箇峠道路の開通後、渋滞や野田IC入口での逆走が見られる。降雪期に向け、県や警察との連携により、万全の対策を。

A 市長 開通後、信号機の間調整や案内板の改善を行った。今後も降雪期に向け、県や警察に対し万全を期すよう要望していく。



平成29年11月25日開通

原発再稼働阻止の取組を

答 慎重に見守っていく

Q 質問 市長は、市民の生命・財産を守るためにも、原発の再稼働は現状では認められないと再三表明している。柏崎・刈羽原発が再稼働に向けて動き出している今こそ、ただ県の動向を見守るだけでなく、市長が先頭に立って、再稼働反対に向けた行動を取るべきではないか。

A 市長 私は原発ではない。明言する。原発立地自治体等の立場によって考え方や思いがあるので、私の方で先頭に立って再稼働阻止に対応するつもりはない。慎重に見守っていることは事実だ。



日本共産党議員団
岡村 雅夫

CCRC施設建設での移住推進は断念を

困難な道だからこそ立ち向かう

Q 質問 2016年度移住希望者266人へのアンケートで、具体的検討者は3人だった。200戸400人の計画は破綻している。企業はメリットがなければ投資しない。公共事業抱き合わせでは、莫大な市負担となる。当初から市にリスクを求めた提案だった。協定締結前に、きっぱりと断念せよ。

A 市長 現在10人の希望者がいるが、50戸のニーズには届いていない。事業化が進まないのは、市が財政負担をしないため、事業者がリスクを負担しきれず、打破する条件が見いだせないからだ。地域のブランド力を高めるため、一体的な構想として進めていく。

GITパーク南魚沼は市民の理解を

答 スケジュール通りには進んでいない

Q 質問 若者の雇用の場の創出をと、大和庁舎に16ブースで始まった構想だ。2030年には350社の集積を目標にしている。1年もたたないうちに家賃の減免がされている。外国人の会社設立、入国ビザ、進出企業の未確定など、諸問題がある。不確実な事業と思われないよう、綿密な計画で市民の理解を求めよ。

A 市長 家賃3年間免除は、初期稼働への支援だ。商用短期滞在ビザで入国している。入国の規制緩和を国に求めていく。この事業を推進するためには、商取引の文化の違いを乗り越えなければならない。



構想にどこまで近づけるか



未来創政会
永井 拓三

スポーツと健康との関わり合いを

答 重要だと考えている

Q 質問 スポーツと健康増進について市はどのように考えているか。

A 市長 極めて重要なことだと認識している。健康増進のための施策を展開していく。

Q 質問 スキーやスノーボードを使った健康増進について、考えはあるか。

A 市長 長期滞在型の観光も含め、当市の魅力である雪を利用し、市民がスキーなどに親しめる環境の整備を行い、健康増進につながる人材育成も考えていく。



生涯学習のこれからは

答 着実に進める

Q 質問 市の生涯学習の計画はいかに。

A 市長 来年度、生涯学習センターを設置し生涯教育の活動を充実させていく。

Q 質問 魅力ある市の構築のための計画はいかに。

A 市長 生涯学習のプログラム化を民間とともに行う。

Q 質問 CCRCとの関連性はどうのように考えているか。

A 市長 生涯教育が移住者も含めた市民活動の場となることが大切だと考える。CCRC事業での移住者がプログラムに参加することに期待している。



南魚みらいクラブ
吉田 光利

三国川ダム観光の方向付は

独立運営できる観光事業を目指す

Q 質問 ①南魚沼市にとって、三国川ダムは大きな観光資源であり、地域を元気に活性化する格好な大きな観光ツールである。今後の方向付は。

A 市長 ①三国川ダムは管理施設・ダム湖・十字狭・キャンプ場・グラウンド・中ノ岳等々、市の主要な観光資源と捉えており、安心か。



ダム紅葉

病児保育室増設計画は

答 現状は考えていない

Q 質問 子育て保護者への就業支援は重要なサービスと考える。市民の声として増設の声は切実であるが。

A 市長 平成27年市民病院の開院に合わせた計画はあったが、現状の利用状況から緊急性は低い。



市民クラブ
寺口 友彦

浦佐駅舎内に海外旅行代理店の誘致を

答 考えていない

Q 質問 さいたま市の世界盆裁大会のように、オンラインワンの逸品を売り出すには海外の視点が必要だ。鉄道を使った海外旅行者への売り込みには、JR浦佐駅舎への海外旅行代理店を誘致せよ。

A 市長 香港、中国、マレーシア、イタリアから影響のある方を当市は受け入れている。当市は雪がオンリーワンと考えている。来年は山形の庄内地域や十日町の大地の芸術祭などを活用したツアーも有効だ。今のインバウンドはツアーから少人数へと移っている。浦佐駅舎への代理店誘致は考えていない。



浦佐駅舎内の活用を

ごみ処理の二市一町でのすり合わせを急げ

答 来年3月末までにやる

Q 質問 ごみ処理区分の検討が今後の課題となっていることに、行政の怠慢を感じざるを得ない。施設整備や民間委託の問題の前にすり合わせが必要である。一般廃棄物処理計画が決まらないうちに民間に事業計画書を出させるとはいかがか。

A 市長 ごみ処理場建設候補地選定を先行させ、バタバタしてしまつたことを陳謝する。時間的に厳しいが、3月までに多くの事項を協議し、何とか概要は示したい。長岡技術科学大学の先生からも、処理計画の策定が重要との指摘を受けている。



市民クラブ
田中せつ子

児童保育待機解消の取組は

答 放課後の居場所づくりとして、広く考え取組む

Q 質 問 少子化対策、移住促進、職場の人手不足解消の為に、早くに対応を。

①場所確保はどう進めるか、空き家や空施設も考えているか。

②放課後児童支援員確保の為の処遇改善策は。

③保護者・委託先との情報交換と現場確認は充分か。

A 市長 ①大きな予算をかけず、空き教室や地域との協力体制等を検討していく。

②今年度開始した国の処遇改善事業に合わせ、勤続年数に応じて年額を増額した。

③月1回の所長会議や、委託先や保護者との情報交換と現場確認を随時、実施している。



職員の意識改革と行政姿勢の変革は

答 職員の自ら考え取組む姿勢を大切にする

Q 質 問 昨年の所信表明で、「自ら稼ぐ・市民の先頭に立つ・攻める」姿勢を持ち込み、変革を進めると発言した。1年間の総括と成果は。

①成果事例と今後の課題は。

②市政ポストはどう活用しているか。市民への公表は、もっと読んでもらう工夫ができないか。

A 市長 ①本庁舎で開始した総合窓口は、市民の82・6%から好評を得ている。市政懇談会のやり方は、もっと市民が参加しやすく変えたい。研修制度も活用し、今後も職員の意識改革に努める。

②データベース化して全職員が情報共有して活用している。返答が遅れることもあるが、市民への公表方法は掲示場所を含め今後検討する。



南魚みらいクラブ 関 常幸

塩沢、大和地区の消雪に不安はないか

答 市民生活に支障が出ないよう対応する

Q 質 問 六日町では、地盤沈下対策として平成6年から重点区域で井戸掘削が規制されてきたが、その弊害として市街地の人口流出や空洞化が進んだ。これに対し、9月議会です地下水の採取に関する条例の改正が行なわれ、重点区域においても井戸掘削が可能となったが、その他区域（大和、塩沢、重点区域を除いた六日町）では、条例改正前と比べ揚水量が減少する事も懸念される。

また、ポンプの洗浄・入れ替えが許可申請となり、故障時には、再度水が出るまでに最長2週間を要することもある。降雪時に雪を消すことができず、市民生活に支障が生じると思われるが、市長の見

解を伺う。

A 市長 許可水量の算定方法を変更したため、条例上の基準では水量が不足することもあると思う。その場合は理由を記して申請すれば、地下水対策委員会の審議を経たうえで、基準を超えて許可することができる。これまでより雪が消えないという事態は、基本的には生じないようにする。

降雪中のポンプの故障など、やむを得ない緊急時には担当部署が迅速に対応し、市民生活に支障がないようにする。



未来創成会 桑原 圭美

増加する発達障がいに対するケアは

答 ユニバーサルデザイン支援事業を活用する

Q 質 問 ①かつては人権意識に乏しい時代があり、保護者は子どもが社会的に

利益を受けないか心配している。周りの児童・生徒への対応等はどうなっているか。

②早期の発見と対応が最も重要であるが、その対策は。

③学童保育への要望は増え続けると考えられるが、発達障がい専門知識を持った人材の配置は。また、所管を学校教育課に移す意義は。

A 教育長 ①教育委員会では、特別支援担当指導主事を配置し、保育、教育現場に派遣している。総合支援学校で研修講座を開設し、保育士や保護者も参加している。

②1歳半、3歳、5歳健師が早期発見に努めている。場合によっては専門医師との相談、市民病院で発達外来を行なっている。学校の先生には幼児教育現場に足を運ぶように促している。

A 市長 ③対応できる職員を拡充していかなければ解決できないと考えている。保育から学校教育へのつながりが大事だ。検討を続けた結果、学

童の部分については教育委員会が担当するべきと判断した。



総合支援学校での研修会



歩む会
牧野 晶

答 スポーツの聖地化を目指せ

答 聖地化を目指す

Q 質 問
モンスターパーパイプ、リング、スケートパークなど、この2年でスポーツ施設がオープンし、全国から注目をされている。

関東からすぐのこの雪国エリアが、冬期のスポーツの聖

地となり産業・人口の活性化につながると思うが。

A 市長
スノーボード・エリートアカデミーが実験段階だが、現在30〜40人の参加申請がある。フリースタイル系の活動拠点として指定を受けるため、1月中旬に全日本スキー連盟、文科省に申請する方向である。



活性化の起爆剤に

答 市民に優しい南魚沼を目指せ

答 気を付ける

Q 質 問
学童保育の待機児童解消等に頑張っていると思うが、学童保育で自宅または学校から500メートル以内

に祖父父母等が居住している場合は、学童に入所できないともとれる文章が配布され

た。子育てを大切にしていこうという市の姿勢、市長の公約に反していると思うがどうか。

A 市長
父母以外の就労状況なども確認させていた

だき、対象であれば学童保育に入所できる。今、待機児童等も出ている中でこれも致し方ないことである。ただ、不安を与えてしまったという点はお詫びしたい。



南魚みらいクラブ
塩川 裕紀

答 ふるさと納税について

答 充当事業の趣旨や内容を分かりやすく公表しよう

Q 質 問
①次年度への期待と課題は。

②寄付者に寄付金が有効に活用されていることと使い道をどう示していくのか。

③寄付金の使い道のうち、「市長にお任せコース」はどのようなに考えているか。

④新たな返礼品（地域プラン

ド）をどのように発信し、今後取り組んでいくのか。

A 市長
⑤返礼品、特に90%を占める南魚沼産の米は南魚沼市の看板であり、粗悪な返礼品は絶対にあってはならない。行政側で品質等をチェックする機能が必要と考えるが。

①まちづくりへ共感が得られるように寄付金を活用し、寄付者と地域の縁が深まるように期待している。各地域づくり協議会や法人などの活動支援、移住定住交流の促進事業等、ふるさと納税をきっかけとした繋がりが持てる仕組みを考えていく。

A 市長
②ウェブサイトで公表し、寄付者へメールで市の様々な情報も含め、報告していく。

③コースのなかで一番注目を集めるところで、市の姿勢が問われる。市民と市役所の思いのなかで、今まで進められなかった施策事業に充当していく。

④この制度は、地域ブランドの向上のための情報収集ができる制度である。質はもとより、サイズ、デザイン、

キャッチフレーズ、金額等分析をし、磨きをかけていく。

A 市長
⑤市独自のチェックは考えていない。関係者に厳しさを持った指導をしていく。



南魚みらいクラブ
目黒 哲也

答 活力ある観光振興を

答 将来像は医療滞在型の観光振興を目指す

Q 質 問
①食によるまちおこしの手段のひとつとして、Bー1グランプリの誘致をしようか。

②東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、ホストタウンに登録すると共に、海外からロードバイクの事前合宿を誘致してはどうか。

③現在の入湯税120円を30円アップし150円にしたかどうか

A 市長
①予算に対する費用対効果や、組織体制が

例えば検討する価値はあると考えている。

②南魚沼市にとってロードバイクは強みである。出遅れ感はあるが、今まさに大使館や領事館を通して動き出している。

③入湯税をアップすることによって客足に影響がでないか。消費税アップも決まっている中で慎重に考える。



グルメイイベントではなくまちおこし

子育て・教育の一貫した支援体制を

答 子育て・教育の一元化は難しい

Q 質問 子育て支援課、学校教育課、学習指導センター、子ども・若者育成支援

センターを一元化して子育てと教育の一貫した支援体制の構築を。

A 市長 大和地区を文教地域として考えている。現在

在学校教育課がある大和庁舎に子育てと教育を集約するには、庁舎の大きさの問題等により一元化は難しいので、関連する部署で連携を強化し、子育てと教育を充実させていく。



未来創代会 大平 剛

小学校から「心の教室相談」を行うべき

答 必要と考えるがより重要なことがある

Q 質問 中学校で行っている「心の教室相談」をさらに早い段階、小学校から行えないか。

A 教育長 子どもの居場所や時間づくりのほうが必要

と考えている。心の相談員の派遣は検討していく。

勤続表彰制度の導入を

答 現在のところ考えていない

Q 質問 看護職、介護職及び教職員の勤務継続年数の向上や、モチベーションアップの為に、勤続表彰制度を導入することは意義があると思うがいかがか。

A 市長 勤続年数による表彰は、市の表彰条例とは趣旨が異なる。各企業や団体によって行われるべきだと考える。

市が看護職、介護職、教職員について特別に勤続表彰を行うことは考えていない。



市民クラブ 佐藤 剛

高齢者の不安「移動手段」をどう確保するか

答 交通空白地はないが状況をみていく

Q 質問 市の高齢化率は30%を超え、核家族、老人世帯が増加するなか、高齢者が関わる交通事故の増加とともに、運転免許証の自主返納も進んでいる。

これに伴い、高齢者の買い物や通院時の移動手段の確保と、高齢者が自家用車に依存しなくても日常生活ができる環境の整備に向け、市民バス、タクシー料金の高齢者への助成や市民バスの運行を補完するデマンド型交通、市町村運営有償運送等を併用して公共交通を充実させ、高齢者の日常生活での移動手段確保の考えはないか。

A 市長 高齢者に特化した助成はないが、市民バス割引は公平性の面で、タクシー料金助成は恒常的になれば路線バス、市民バスの運行にも影響がでる。現状では困難だ。

デマンド型交通、市町村運営有償運送は、一応交通空白地がないので、その状況が発生した場合には考えたい。

Q 質問 交通空白地はない建前だが、現状の公共交通

通には市民の不満、不安は大きい。

他県ではデマンド型交通を、地元のタクシー会社と連携した高齢者の登録制度により、初乗り料金のみの負担で、ドア・ツー・ドアの移動手段を実現したところもあるがどう考えるか。

A 環境交通課長 それに近いものとして、免許証自主返納者にタクシー割引相当を協議中だ。





畔地浄水場内

② 県内の多くの自治体が水道管の口径によって、基本料金を決定し、1 m³の使用料

Q 質問

① 来年4月から基本料金を月額215円引き下げて2,200円にする方針だが、県下一高い料金に変わりはない。せめて県内平均の月額1,500円程度に引き下げる考えはないか。

答 引き下げは出来ない

水道料金のさらなる引き下げを



日本共産党議員団
中沢 道夫

② 法定外繰入などの明言は出来ないが、今後の推移を注視していく。

A 市長

① 予想以上の減少と受け止めている。

② 将来保険料負担が大幅にアップしないよう、財政処置をする考えはあるか。

② 来年年度から国保の都道府県への移管にともない、県の仮算定では28年度に比べ引き下がるとの試算が出ているがどのような受け止めているか。

Q 質問

① 来年年度から国保の都道府県への移管にと

答 来年度は下がる予定

国保の広域化で保険料は上がらないか

② 現在の経営状況では出来ないが、問題意識を持ちながら今後も考えていく。

A 市長

① 多くの財源が必要となり、現状では今回提案した以上の引き下げは出来ない。

から加算する料金体系になっている。当市でも同じような料金体系に改め、10 m³以下の使用者の負担軽減を図る考えはないか。

注目の事業

子育て支援センター「ほのぼの広場」オープン

◎利用料=無料



昨年の南魚沼市議会9月定例会にて可決した、市民待望の全天候型屋内広場、愛称「ほのぼの広場」が12月21日にオープンしました。

坂戸のふれ愛支援センターからイオン六日町店専門店館1階へ移転し、リニューアルされた広場面積は約350m²（移転前の約1.7倍）になりました。遊具もボルダリングウォールなど各種備えられ、乳幼児から小学3年生までの児童と保護者が利用できます。雨の日でも雪の日でも親子で遊べる広場の誕生で、さらなる子育て支援の充実が図られます。

遊びの広場としては、全国で初めてミキハウス子育て総研㈱の認定を取得しており、子育て支援に取り組む自治体として全国へのPRとなり、活性化が期待できます。



注目の事業

ふるさと納税

予想を超える寄付金額

ふるさと納税とは寄付金の一種で、応援したい自治体に寄付すると、その額に応じて所得税と住民税から、一定の控除が受けられる制度です。全国のどの自治体にも寄付できるものです。南魚沼市では、従来もこの寄付金はありませんでしたが、昨年6月より、返礼品付きで新規対応を始めたところ、12月末で7億円を超えるなど、予想以上のペースで推移しています。

返礼品の約9割が米（コシヒカリ）で、他は清酒や特産品などで、その経済効果も期待されています。



● 寄付者が選んだ寄付金の使い道

(12月末現在)

使 い 道	件 数	件数 (%)	寄付額 (円)	寄付額 (%)
安心して暮らせる福祉のまちづくり	4,553	19.2	140,868,200	18.9
地域社会を支える人づくり	2,346	9.9	73,745,000	9.9
豊かな自然づくり	5,148	21.7	160,047,505	21.4
安全・快適でうるおいのある生活ができるまちづくり	1,098	4.6	31,842,600	4.3
力強い産業のまちづくり	1,795	7.6	53,235,500	7.1
あかるい自治のまちづくり	295	1.3	9,526,000	1.2
市長にお任せ	8,460	35.7	277,420,810	37.2
合 計	23,695	100.0	746,685,615	100.0

● 寄付者の居住地 (寄付件数の上位5都府県)

(12月末現在)

都 府 県	件 数	件数 (%)	寄付額 (円)	寄付額 (%)
東 京 都	7,793	32.9	232,637,411	31.2
神 奈 川 県	2,897	12.2	85,063,000	11.4
大 阪 府	1,778	7.5	63,544,600	8.5
愛 知 県	1,525	6.4	52,538,000	7.0
埼 玉 県	1,532	6.5	50,496,600	6.8

平成29年 南魚沼市議会政務活動費収支一覧表

平成29年4月～平成29年10月

(単位：円)

会派名	南魚みらいクラブ	歩む会	市政クラブ	新生市民クラブ	南魚政策研究会	日本共産党議員団	広田公夫	勝又貞夫	計
人数	6	5	4→3	4	3	3			
収入の部 交付額	504,000	420,000	288,000	336,000	252,000	252,000	84,000	0	2,136,000
支出の部	調査研究費	652,760	446,870	292,529	261,192	240,741	0	0	1,894,092
	研修費	129,670	0	0	60,648	0	0	109,050	299,368
	広報費	0	0	0	0	0	247,586	0	247,586
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	11,448	0	0	11,448
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
計	782,430	446,870	292,529	321,840	252,189	247,586	109,050	0	2,452,494
返還額	0	0	0	14,160	0	4,414	0	0	18,574

平成29年 南魚沼市議会政務活動内容

平成29年4月～平成29年10月

会派名	内 容
南魚みらいクラブ	●研修 平成29年5月10日～11日 5人参加 市町村アカデミー 議員特別セミナー：地域における政策課題 ●視察 平成29年6月27日～29日 6人参加 釧路広域連合：清掃工場について 北海道斜里町：農業振興の取組とクリーン体験農場について 北海道羅臼町：郷土学習「知床学」について
歩む会	●視察 平成29年6月27日～29日 5人参加 長崎市：長崎市西工場（ごみ処理施設）について 市長マニフェスト達成状況と 市役所かわるプロジェクトについて
市政クラブ	●視察 平成29年5月29日～6月1日 3人参加 熱海市：営業する市役所について 松山市：「坂の上の雲」まちづくりについて 今治市：今治タオルプロジェクトについて タオル工場視察
新生市民クラブ	●視察 平成29年5月18日～19日 4人参加 四日市市：24時間365日在宅医療支援病床確保事業について 在宅医療啓発活動補助金事業について いしが在宅ケアクリニック視察 長久手市：愛知たいようの杜ゴジカラ村視察 ●研修 平成29年7月19日 4人参加 地方議会総合研究所：予算審議に向けた決算議会のポイント ●視察 平成29年7月19日 3人参加 江戸川区：地方との連携について
南魚政策研究会	●研修 平成29年6月28日～30日 3人参加 NPO法人ローカルグッド福岡：事業運営等について 福岡市：ごみ処理施設について 糸島市観光協会：移住者による観光振興について キャナルシティ博多：まちづくり政策について 北九州市：就業支援について ●資料購入 まちづくり関連書籍
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行(第46号～第47号)
広田公夫	●研修 平成29年5月15日～19日 市町村議会議員研修：地方自治基本コース ●研修 平成29年5月20日・21日・27日 (一社) コミュニティネットワーク協会： 地域プロデューサー養成講座
勝又貞夫	申請せず

所属会派一覧 (◎代表) 平成29年10月現在

南魚みらいクラブ	◎小澤 実	塩川 裕紀	清塚 武敏	関 常幸	若井 達男	黒滝 松男
歩む会	◎塩谷 寿雄	笛木 晶	鈴木 一	牧野 晶	阿部 久夫	
新生市民クラブ	◎中沢 俊一	田中せつ子	佐藤 剛	寺口 友彦		
市政クラブ	◎腰越 晃	桑原 圭美	阿部 俊夫			
南魚政策研究会	◎中沢 一博	永井 拓三	樋口 和人			
日本共産党議員団	◎岡村 雅夫	中沢 道夫	田村 真一			
無所属	広田 公夫	勝又 貞夫				

議会の仕組みと役割



議会とは

市の政策や方針を決定するためには、全ての住民が意見を出し合い、話し合うことが理想です。しかし、全員が集まり、話し合うことは現実的には難しいため市民の中から選挙を通じて代表を選び、話し合いをしてもらう仕組みをとっています。その市民の代表である議員が話し合う場が議会です。

議会では、市長から提案された市の方針や予算、条例などについて話し合い、どうするかを決定します。市長はその決定に従い、具体的に仕事を進めることとなります。議会は議決機関、市長は執行機関と呼ばれています。

議会の権利と役割

市の意思を決定することと、市政の監視を行うことが市議会の大きな役割になります。

その役割を果たすために市議会には、議決権、調査権、監査請求権、請願の審査権、意見書提出権などの多くの権限が与えられています。

本会議と委員会

議会の活動は主に、本会議と委員会の二つに分けられます。

本会議は全議員で行なうもので、年に4回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。

議会では、条例の制定や予算の決定等の「議案の審議」や議員一人ひとりが、市長の政策などを問う「一般質問」などが行われます。

委員会では、本会議よりも専門的な審査・調査を行います。委員会には、議会運営委員会、総務文教委員会、産業建設委員会、社会厚生委員会に加え、必要に応じて議会広報編集特別委員会等の特別委員会も設置されます。

議会への請願・陳情

市民の皆さんの要望や意見を国や県、市に伝える方法として請願や陳情があります。請願は議員の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。

詳しくは市議会ウェブサイトをご覧ください。

祝 出場! 期待 活躍!

小野塚選手を
パブリックビューイングで
応援しよう!

日時 平成30年 2月20日(火)
午前10時から

場所 塩沢中学校 体育館



田中 友里恵 選手 (南魚沼市三郎丸出身)
[バイアスロン]

2018 平昌オリンピック



小野塚 彩那 選手 (南魚沼市石打在住)
[スキーフリースタイル女子ハーフパイプ]

バイアスロンってどんな競技?

冬の狩猟が原型の、クロスカンリースキーとライフル射撃を組み合わせたスポーツです。個人やリレーの種目により、最高15kmを滑走し2～4回の射撃を行って順位が争われます。全力疾走の合間に、50m先の的を確実に射る精密さが求められる競技です。

南魚沼市からパワーを送りましょう!

編集後記

平成29年度は、秋に定数削減の中、市議会選挙が行われ新人議員4名を含め、22名が選出されました。新人議員にとつて緊張の中、全議員それぞれが市民の代表として、南魚沼市発展に向け新たな決意の下、11月7日初議会より新体制がスタートいたしました。

いよいよ2月、冬季平昌オリンピックが開会され、南魚沼市出身選手の活躍が期待されます。伸び伸び思いっきり楽しんでください。市民みんな応援しましょう。

新広報委員メンバー同気持を新たに、一丸となつて、皆さんにとつて分かりやすく元気の出る議会だよりづくりを目指します。

長い冬から、もうすぐ春です。皆様にとつて今年一年良い年でありますように、議員一同心よりご祈念申し上げます。

委員長 吉田光利

3月議会 予告

3月に市議会定例会を開催します。

2月26日～3月16日 (予定)

お問い合わせは 議会事務局 ☎773-6650 へ

議会広報編集 特別委員

委員	副委員長	委員長	委員	委員	委員	委員
大平 剛	梅沢 道男	吉田 光利	目黒 哲也	中沢 道夫	勝又 貞夫	塩谷 寿雄